

# 2 学年通信

新宮町立新宮東中学校  
令和7年9月19日 第48号  
文責:江頭 俊輔

[チ。～地球の運動について～]

前回は、「チ。～地球の運動について～」という漫画を取り上げました。今回は、この漫画の中から、江頭が「おおおお!!!」となった、珠玉の名言をみなさんに紹介したいと考えています。あまり詳しく名言の前後関係を説明するとネタバレになってしまう可能性もあるので、紹介する名言の言葉に迫っていきたいと思います。気になった人は漫画やアニメを是非！感想を語り合いましょう！！

[不正解の捉え方とは、]

でも、不正解は  
無意味を意味しません。

さて、第一章で登場する名言が『でも、不正解は無意味を意味しません。』です。どちらかという正解に限りなく近づきたくなる現代ですが、この名言は『不正解』を選ぶことに対して、そっと勇気を与えてくれる温かさを含んでいます。単純に、今の社会の構造から見ると一見、『不正解』と思われるような決断だったとしても、後世のことを考えると、それが完全に『不正解』と言い切れるかどうかは誰にもわ

かりません。後世にバトンを渡す結果となることもあります。たとえ今は不正解だったとしても、それを選んだこと自体、無意味とは言い切れません。みなさんも中間考査の結果が返ってきている頃だと思います。不正解だった自分の回答が『無意味を意味する』でしょうか。そこから、しっかりとやり直しをして、復習を重ね、次のテストや高校入試で同じような問題を解くことができれば、その不正解は『無意味を意味しない』はずです。どちらかと言うと正解を求める時代だからこそ、不正解を意味あるものにしたいです。

[人生最悪の瞬間に出会ったら、]

人生最悪の瞬間に出会うかもしれない登場人物が、信念を曲げず、正しい選択をするために覚悟するシーンでの一言です。人生最悪の瞬間だからこそ、人生をかけて正しい選択をする覚悟が求められます。この言葉に続けて、『積み上げた歴史が動揺を鎮めて、臆病を打破して思考を駆動させて、いざってときに退かせない。全歴史が私の背中を押す。』自分自身で追い風を作っているような勢いのある台詞です。登場人物の芯のある姿が描かれています。

でも、そのときにこそ  
正しいと思った選択を  
しなきゃいけない。  
きっとその一瞬の選択の為に、  
私の数奇な人生は存在する。

[迷っていい。迷って、迷って、そして]

これも先ほどと同じ人物の言葉です。「人は迷ってもいいのか。」そんな問いへの返答です。『倫理』とは、少し難しいですが、道徳やモラルという意味です。ある社会で正しく行動するための心構えみたいなものです。私はこれまで、『倫理があるから、迷う』と思っていました。「バスで座っていて、お年寄りに席を譲りたい（倫理）けど、次の駅で私は降りるから、そのときでいいか、どうしようか。」小さいことから大きいことまで、日常に迷いはたくさんあります。迷って、迷って。その中に倫理があって、その倫理を見つけて行動する。でもいざってときには、絶対に退かない。迷わない。このメリハリが大切です。

迷って。  
きっと、迷いの中に  
倫理がある。